

東日本大震災宮城県北部沿岸市町支援活動について

5月27日から6月5日にかけて、10日間にわたり徳島県第3班第11陣として宮城県石巻市へ支援に行っていましたので報告いたします。

1. 第11陣派遣部隊の体制

徳島県内市町村職員30名の内

気仙沼 8名

南三陸町 8名

石巻 6名

女川 8名

2. 支援日程（石巻班）

5月27日	12時30分	徳島県庁出発
28日	6時30分	石巻市内宿舎到着
	7時00分	石巻市役所到着
	8時30分	石巻市内視察
	10時30分	第10陣より業務引継ぎ
	13時00分	第11陣業務開始
29日		同上業務
30日		同上業務
31日		同上業務
1日		同上業務
2日		同上業務
3日		同上業務
6月4日		同上業務及び第12陣へ引継ぎ
	16時00分	石巻市役所出発
6月5日	9時00分	徳島県庁到着

3. 従事した業務内容

- ・「災害障害見舞金」及び「災害援護資金貸付」の受付業務
- ・福祉総務課の受付業務サポート

4. 石巻市の状況

石巻市においては、市役所自体も大きな被害にあいましたが、辛うじて機能しているようでした。職員の方々も災害にあわれた方が多く、非常に厳しいなか、時間はかかると思われますが、少しずつ復興へ進んでいる状況です。

しかし、市内でも港周辺や各地域においては壊滅的な被害にあっており、まだまだがれきの山があたり一面に残り、作業が進んでいない場所もありました。実際に現場を目の前にすると言葉を失い、震災当時の状況を想像するだけで、今まで味わったことのない恐怖心にかられました。

5. 石巻市役所での支援業務について

担当していた「災害障害見舞金」「災害援護資金貸付」業務については、4名の職員で受け、福祉総務課の窓口サポートは2名の職員で対応しました。

「見舞金」「資金貸付」は1日約40件程度の説明受付を行いました。来庁される方々は、ほぼ全員の家が全壊または半壊、家族が死亡・行方不明など深刻な被害にあわれている方ばかりで、今回の震災の大きさを物語っていました。それら被災者の方々の被災状況等を聞き、正しく説明をするうえでは両制度の熟知が必要です。

また、福祉総務課の窓口業務サポートは、途切れることなく来客があり、他の支援制度の申請に来られる方も多く、場所・時間等市役所内全体の受付状況を把握し対応しなければなりませんでした。

6. 支援業務で感じたこと

今回の支援業務で、実際の震災現場を見て被災者の方々の声を聞いたことで、自分にとっても震災がより身近な出来事として感じることができました。また災害時における心構えや対応方法など数多くのことも学ぶことができました。

震災時において最も大切なことは、日頃から家庭や地域で自主防災の意識をしっかりと持つことにあると感じました。いくら周りが防災環境をつくっても、住民ひとりひとりが意識をもって行動しないと機能しません。

大切な人の命を守るために常に災害に対して真剣に向き合い、取り組んでいくことが重要ではないでしょうか。

7. 活動写真



徳島県派遣団出発式（徳島県庁）



石巻市港周辺の被災状況



受付業務風景（石巻市役所内）



石巻市港周辺の被災状況



災害連絡伝言板（石巻市役所内）



石巻市雄勝地区の被災状況



吉野川市から石巻市へ元気メッセージを届けました（徳島県派遣団）



石巻市大川地区の被災状況